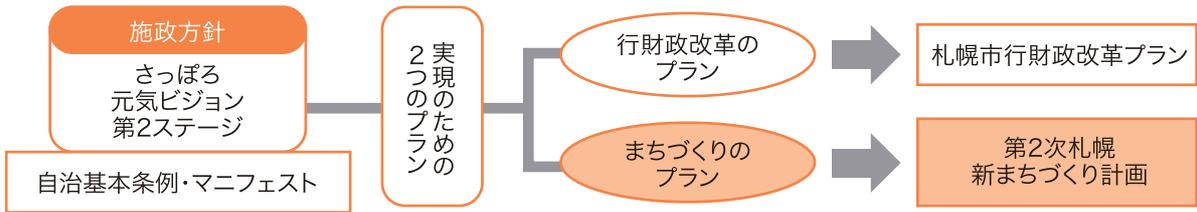


1 第2次札幌新まちづくり計画の概要

計画策定の趣旨

- 施政方針「さっぽろ元気ビジョン 第2ステージ」に掲げるまちづくりの基本的な方向性を実行に移すためのまちづくりのプランとして策定するもの。
- 限られた財源を効果的に活用することを念頭に、長期総合計画の基本的方向性や、前計画（札幌新まちづくり計画）におけるまちづくりの方向性を踏まえ、特に優先的・重点的に実施する施策・事業を定めるもの。

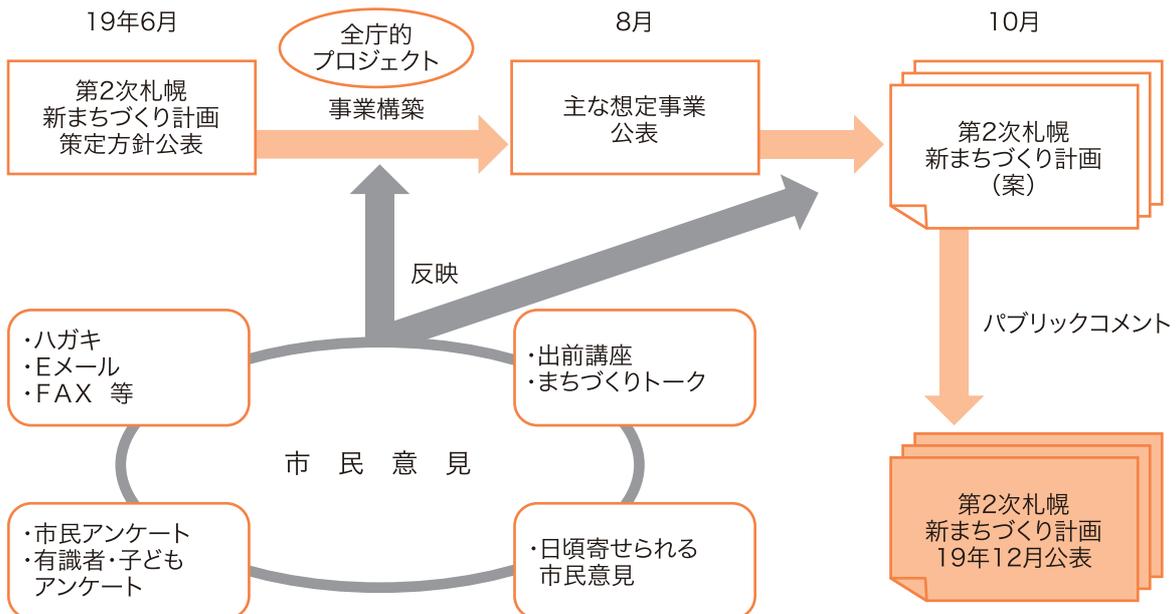
●イメージ図



計画期間

- 平成19年度から22年度の4年間。

計画策定経過



計画の特徴

■計画対象事業の重点化

施政方針に掲げるまちづくりの基本的な方向性に基づき、5つの政策目標と15の重点課題を設定。目標と課題を明確にし、計画事業を重点化。また、重点化にあたっては、定例的事業や施設保全、維持補修（緊急に対応が必要な耐震改修などを除く）などの事業を計画対象外として整理。

■市民への情報提供と意向把握の充実

計画策定の各段階（策定方針公表、主要想定事業の公表など）において、その内容を公表し、意見募集を行ったほか、アンケートの実施、まちづくりに関するシンポジウムの開催などを通して、市民意向を把握し、可能な限り計画に反映。

■成果の重視と指標の設定

成果指標として、重点課題ごとに「市民意識・行動指標」、「社会成果指標」を合計66項目設定し、その達成に資する事業を積極的に計画化。

また、全計画事業に「達成目標」を新たに設定し、各事業の目標をわかりやすく表示。

■前計画の方向性を踏襲

前計画策定時の市民会議における議論を踏まえ、特に提言を受けた5項目の「まちづくりの大切な視点」を継承し、計画全体を推進する理念である「計画推進の方針」に位置づけ。

- 市民自治の推進
- さっぽろブランドの創出・継承
- 持続発展が可能な都市の実現
- 安心・安全なまちづくり
- 市民活力の向上

■全庁的プロジェクトの設置

組織横断的な取り組みを促進するために、政策目標ごとに副市長をトップとする全庁的プロジェクトを設置。成果指標や施策の検討、計画事業の調整などを行い、計画策定後は進行管理を実施することにより、組織間の情報共有、連携を強化。

計画事業費

○総事業費 4,516億円（うち、一般財源401億円）